

「花かご」人形劇・東北ボランティア

第4次 2013年6月16日～19日

・メンバー 大畑、熊倉、真知、木村、田中

昨年6月以来1年ぶりに南三陸町を訪ねた。

名足保育所、入谷東幼稚園、志津川保育所を公演する。

子どもたちの人数が減っていた。

瓦礫の山は殆ど無くなっていて、広大な分譲地の様だ。

その中にある鉄骨だけの防災対策庁舎には、祭壇がも

うけられ人々が手を合わせに来ている。当時、3階ま

で漁具が引っかかっていた。復興は遅々として進んで

いない。このままでは東北は忘れられてしまいそうだ。



取り壊すか、残すかで意見が分かれている・・・



名足保育所の子どもたち



ほったて小屋の大森食堂



大森食堂のマスター（元漁師）と相棒。音楽好きで元気いっぱいの人



漁師の長さんとマスター



長さんと熊倉



女性に囲まれた「銀洋丸」佐藤長治さん

仮設住宅暮らしを続けながら復興を待ち望んでいる被災地の人々。

生コンクリートが不足して住宅のメドがたたないという。優先順位が1位・高速道路。2位・護岸工事、最後が住居だ。その道路建設の大半が大手のゼネコンに行き、復興予算が都会の大手企業に流れる仕組み。メディアでは、東北はすでに終わって、南海トラフがどうのこうの…。解決してない原発を海外に売りつける国、日本！